

2019年9月30日

独立行政法人 国際協力機構（JICA）が発行する
ソーシャルボンドの購入について

昭和病院企業団は、資金運用を通じた社会貢献への取組として、独立行政法人国際協力機構（JICA）が発行するソーシャルボンド(社会貢献債)を購入しました。

ソーシャルボンドとは、調達された資金が社会課題の解決に資する事業に充当される債券です。JICAが発行する債券（以下「JICA債」という。）は独立した第三者機関である株式会社日本総合研究所より、国際資本市場協会（ICMA）が定義するソーシャルボンドの特性に従った債券であると認められています。

JICA債で調達された資金は全額がJICAの実施する有償資金協力事業に充てられ、開発途上国の社会課題を解決するための融資に活用されます。主な融資対象は大規模インフラ整備事業や貧困削減、人材育成を目的としたプロジェクト等です。また、JICA債の発行は2016年12月に策定された日本政府の「持続可能な開発目標（SDGs）実施指針」に具体的な施策の1つになっています。

今回購入したJICA債は、SDGs達成に向けた進捗が遅れているアフリカ諸国への有償資金協力事業を資金使途とする債券であり、アフリカ諸国における道路、下水道、電力インフラの整備や、教育分野などの支援に充てられる予定です。

当企業団は、今後も適切な資金運用を実施するとともに、持続可能な開発目標（SDGs）の達成への貢献に努めてまいります。

〈本債券の概要〉

債券名	第50回国際協力機構債券
年限	10年（2029年9月20日償還）
発行総額	120億円
発行日	2019年9月20日

※ 持続可能な開発目標（SDGs）とは、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標で、持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成されています。